

学生の発想力と企業の技術力で新しいものづくりの実現を目指す！

アイデア発表と意見交換会

学生と企業を繋ぐ未来のモノづくりネットワーク「未来マトリクス」の学生が、発想力豊かなアイデアをプレゼンテーションします。そのアイデアに対して、CNB会員の皆様から実現のためのヒントやアドバイスをしていただく意見交換会を実施します。

合計4チーム、10名の学生が集結します！

10月1日（金）17時半から19時、**オンライン（ZOOM）**にて開催です。

奮ってご参加ください。

特に今年度は、リモート”で人を幸せにするアイデアを考えよう」とテーマを決

め、それについて深めたチームが3つございます。コロナウィルス感染拡大に

より、一気に身近になった「リモート」。ぜひ、学生のアイデアを聴いてくだ

さい。

未来マトリクス

学生と企業を繋ぐ未来のモノづくりネットワーク。中部エリアの多様な学問を学ぶ大学生・院生たちとモノづくり企業を中心に、イノベーションを起こすモノづくりに取り組んでいます。名古屋大学工学部 宇治原徹教授（右写真）を発起人に2015年設立。



発表チーム

① ソーシャルディスタンスを乗り越えて、五感を共有する

（メンバー：名古屋大学工学研究科修士1年、名古屋大学経済学部4年、情報科学芸術大学院大学修士1年）

・着想のきっかけ

自分たちの子ども時代の経験から、は世界に1つだけのオリジナルボードゲームを作る小学生向けのワークショップを行なっているチーム。製作したボードゲームで遊ぶことで子ども達の自己肯定感を養うことを目指しています。

② リモート”で人を幸せにするアイデアを考えよう① (切り替えのスイッチ)

(メンバー：名城大学経済学部3年1名)

・着想のきっかけ

オンライン授業はリアルでの授業以上に身が入りにくいのが本音。自宅で受講していると、オンとオフの切り替えができないことが一因かも？と気がついたメンバーのアイデアです。

③ リモート”で人を幸せにするアイデアを考えよう② (集中力) (メンバー：名古屋大学情報学部3年、名古屋市立大学経済学部2年、名古屋大学工学部1年、岐阜大学応用生物科学部1年)

・着想のきっかけ

「普段の会議以上に集中できないのはなぜだろう・・・」リモート会議を自宅ですると、集中力が途切れがちなことに着目し、集中力を上げる方法を考えています。

④ リモート”で人を幸せにするアイデアを考えよう③ (コミュニケーション力)

(メンバー：岐阜大学工学部1年、愛知県立芸術大学美術学部4年)

・着想のきっかけ

リモートワークが進むにつれ、それぞれの人が求めるコミュニケーションスタイルの違いにより、使いたい機能や仕組みが異なることに注目しました。これまでよりも幸せなコミュニケーションをリモートでできる方法を考えています。